

立体作品 展覧会の守り神 シーサー

年組	番号	コメント
5年2組	1	最初はシーサーを作るための粘土を使って順調に作っていましたが、段々とひび割れがひどくなってきました。シーサーを作るだけでなく、ひび割れを直す作業も必要でした。個人的には難しいところもあって大変でした。ですが、作っているうちに作業に慣れていきました。約3ヶ月後にはしっかりと焼いて色を塗ったよい作品ができました。
5年2組	2	最初は粘土の使い方やひび割れを直すことは苦手でした。友達に水をちょっと付けてやるといいよとアドバイスをもらって問題を解決できたこともありました。シーサーをかまで焼いた後の色塗りも成功してとても嬉しかったです。
5年2組	3	最初はどれくらいの大きさを顔や胴体を作ればよいのか分からなかったけれど、友達に教えてもらってよいシーサーが仕上がりました。少しずつ作業に慣れて、どこに何を付ければよいのかもアイデアが浮かぶようになりました。色塗りも成功してかっこいいシーサーが完成しました。
5年2組	4	粘土で何かを作る経験はあまりなかったので不安だったけれど、友達が「こうしたらいいと思う」と言ってくれたので、段々と楽しくなってきました。色塗りはかっこよくできたので、嬉しかったです。
5年2組	5	最初は粘土でうまく形を作れなかったけれど、先生や友達の作品を参考にしようまく作ることができました。難しかった部分は胴体に穴を開けることと、顔と首を胴体に付けることです。うまく作れて嬉しかったです。
5年2組	6	最初は粘土の扱いが難しかったけれど、何回か作業をしていくうちにうまくできるようになりました。顔のパーツを作るときには目や鼻、耳の部分を綺麗に作れるように気を付けました。また、体の模様は細くした粘土を丸めて作ったり、ヘラでかくなど工夫をしました。色をぬるときはやさしい感じのシーサーにしたかったのであたたかい色を多く使うようにしました。
5年2組	7	私は、難しいことがたくさんありました。特に顔のパーツの鼻や口(歯・舌)が難しかったです。でも、友達のを参考にしながら取り組むことができました。また、色ぬりは、綺麗にぬることを心がけました。
5年2組	8	私は顔の耳と、鼻を作るのを頑張りました。大変だったことは、しっぽの色塗りです。かわいいシーサーを意識して作ることができて嬉しかったです。
5年2組	9	シーサーを作って難しかったところはシーサーのバランスを保つことです。最初は足などのバランスを保つ重要なところで胴体が崩れてしまいました。でも、足の制作に力を入れることで足が崩れなくなりました。嬉しかったです。
5年2組	10	シーサーで工夫したところは、左右の耳の長さを変えたところです。大変だったところは、歯を付けたり、口の中を作ったりするところです。舌も作ってみました。色は、前にシーサーを作ったときに色が金色で明るかったので、今回は、黒をぬりました。
5年2組	11	最初は1kgしかなかった粘土が、5kgになり、とても頼れる守護神のような風体になりました。最初は新聞紙の周りを粘土で囲み、それを粘土の糊のようなもので、貼り、胴体を作りました。糊が冷たく、さわり心地も良かったので、あまり悪い気はしませんでした。次に足です。足は粘土で足や爪の形を作り前足後ろ足で、計4本作ります。そして、前足後ろ足をそれぞれ割り箸で刺したあと、保存します。次は顔です。顔は最初パソコンで画像検索をしたため、それをモチーフに作りました。モチーフにしたとはいえ、段々思っていた構造とは異なっており、独創性を追求するようになりました。顔は、皆と少し違った目が3つ、歯は、互いに入り組んでおり、繋がっているように見えるため、舌を作る手間が省けました。次は角です。角は円柱状の粘土に棒を絡めました。最後に、尻尾や装飾品です。急須型の筒の中に入れて、お団子のようなものを入れ、色塗りの際インクを流し込みやすい型にしました。そして、尻尾は、2つの団子がくっついたものの先端に、またお団子をくっつけるような、よくわからない物になってしまいました。独創性を追求しすぎたのでしょうか。色塗りは、交差するように足を二本白色に染め、同じように交差するように斜めがけの足を黒色に染めました。

5年2組	12	シーサー作り、楽しかったです。ぼくはシーサーの体を食べ物に例えてみました。目玉焼き、チーズハンバーグなど…。シーサーの体のどの部分がどの食べ物なのか、当ててみてください。
5年2組	13	トラをモチーフにした作品です。できる限り情熱的な色をたくさん取り入れました。また、今年は寅年なのでその点も考えました。細かく塗ることは得意ではありませんが、頑張っって少しずつ塗りました。時間が迫ってきてギリギリでしたが、上手に作る事ができたのでよかったです。
5年2組	14	シーサーを作っているときに、色や形の相談に乗ってくれるなど、色んな人が手伝ってくれました。そのおかげで作品を完成させることができたのだと思います。
5年2組	15	シーサーの胴体を作るときは何度も崩れそうになり失敗も重なりました。それでもシーサーの形を作り切ることができ、色塗りもよく考えて塗ったことで結構よい作品ができたのかなと思っています。
5年2組	16	シーサーでは、最初は全然うまくできなかつたけれど、上手な友達に教えてもらったり、形を工夫したり、だんだん慣れてきて、仕上げることができました。友達と協力したり、助け合いながら作る事ができたと思います。
5年2組	17	シーサーを作るときは、イメージや想像がつかなかつたけれど、パソコンで調べたり、友達の作品を見してもらったりして、手伝ってもらいました。頑張った所は、シーサーの鼻や眉毛です。鼻は、立体感を出したくて、自分の鼻？人の鼻をイメージして、作りました。大変だったことは色使いです。色が濃いのはあまり好きではないので、薄い色でシーサーに塗りました。これからシーサーを作る事なんてあまりないと思うけれど、また作ってみたいと思いました。
5年2組	18	シーサーを作り始めた頃はどうか悩みました。でも、しっかりと立ついいシーサーに仕上がりました。色を何色にするかでとても悩みましたが、最終的に火のようになかつたいいシーサーにしました。正直、自分でも気に入っています。そして、このシーサーの一番の特徴は、前の左足がソーラン節のようになっていることです。展覧会でその足が折れないかが心配です。
5年2組	19	シーサーを作り始めた頃はどのように作るかイメージがわきませんでした。パソコンで調べたり友達の作品を見て少しイメージがわきました。僕は、シーサーの顔の口が特に難しかったです。何故か口の部分にいっぱいひびが入っていたので直すのに時間がかかりました。焼いて固くなつたシーサーに色を付けるとき足にひびが入っていたので展覧会の際に足が折れないか心配です。
5年2組	20	シーサーを作り始めたときは守り神のようなかつたいいシーサーにしようと考えながら作っていましたが、作っているうちに難しいことがたくさんありました。その中でも特に難しかったところは目や爪などの細かい部分を綺麗に塗ることで。どの色を採用するかも難しかったです。大変だったことは、2つあります。1つ目は胴体がとても早く乾燥してしまうことです。2つ目は、思った色を作ることができなかつたことです。友達が使っていた紫とグレーを混ぜたような色がとてもいい色だと思ったので、シェアしてもらいました。他にも友達にたくさん手伝ってもらいました。友達と協力して作った作品なので、家族や近所の親戚の人にもみてもらいたいです。シーサーにたくさん傷が入っていたものの足や尻尾が折れることがなかつたので良かったです。他の人が作っていた、ちびシーサーを見て自分も作りたかつたと後悔しています。できるだけ明るい色を使い展覧会のテーマ、「色とりどり」を意識してシーサーを作ることができたと思います。模様も他の人のを見て参考にし、模様を描くことができました。絵の具を分け合つたりしたので、様々な色を採用することができました。友達の手伝いがあったので、最高のシーサーを作ることができました。他の学習や次の図工の学習では、困っている友達がいたら手伝えることを意識したいです。
5年2組	21	シーサーの胴体を作るところまでは簡単でした。でも、胴体が乾燥しないように、タオルを濡らしたりシーサーにくっつける目や鼻、牙、飾りなどをどんなふうな形に作ろうかしばらく悩みました。結果、その時の自分の気持ちや考えを生かして作りました。シーサーの胴体にそれぞれのパーツをを付けていくごとにどんどん重くなつていきました。完成したときにはとても重くなつていました。作るときはこんなに大変だとは思わなかつたけれど、やっていくごとに楽しくなりました。学校でシーサーの色塗りをするときどんな色にすればいいか分からなかつたけれど、自分が入れたい色を入れていくごとにイメージが湧いてきました。

5年2組	22	最初はイメージのイラストが最後までかけなくて悩みました。どんな顔や口にするか、考えるのに時間がかかってしまいました。色ぬりが変になってしまったかもしれないけれど、最後までやりきって完成させることができてよかったです。
5年2組	23	シーサーをつくる時に足や目を作ることが大変でした。シーサーの体を頑張って作り、時間ギリギリにシーサーの色も塗ることができました。思っていたものとはイメージがちがうところもあるけれど、完成させることができてよかったです。
5年2組	24	足が折れたり、なかなか大きさが合わなかったりするなど、様々な困難がありました。それでも、友達のアドバイスを取り入れるなどして素晴らしい作品を作ることができました。今でも同じ班の友達にはたくさん感謝しています。また、作品のテーマは「沖縄(琉球)」です。そのために沖縄っぽい色(イメージ)の色を取り入れました。
5年2組	26	難しかったところは、見た目を良くするために粘土を指で擦ったところです。困ったところは、焼いた後に爪などが剥がれてしまったところです。なぜ剥がれてしまったのか疑問に思いました。頑張ったところは、色塗りです。どこをどういう色にするのかよく考えて塗りました。
5年2組	27	顔がかっこよくなるように形を選んだり整えたりすることが大変でした。色塗りのときは模様で緑を使うことを意識しました。うまく仕上がってよかったです。
5年2組	28	シーサーの形を作ることが大変でした。色をどこに付けるかを迷いましたが、自分の作りたいシーサーを作ることが最後までできて嬉しかったです。また、目と鼻を作ることに力を注ぎました。怖い感じを出すことが難しかったです。
5年2組	29	シーサーを組み立てた時間の次の時間に胴体が崩れていたことに驚きましたが、先生が直してくれたので、凄いなと思いました。色を付けるときに何色にするか迷いました(特に鼻)。最終的には納得のいく色になってよかったです。
5年2組	30	シーサー作りは簡単だと思っていました。作業を進みってみるととても難しいものだということが分かりました。シーサーに色を塗ることがとても大変だったけれど、完成したときはとても嬉しかったです。
5年2組	31	最初は本当にうまく作れるか心配だったけれど、先生の説明や友達の作品を見せてもらったりしながら作って、うまく上げることができました。歯に赤い絵の具がついてしまい、白で直そうとしましたが残った姿もちょっとかっこよく見えたので残しました。シンプルに見せたかったので柄を少なめにしました。
5年2組	32	最初はうまく作れるか心配だったけれど、友達や先生の説明やアドバイスもあって、完成させることができました。「目」は重要な部分なので、特に工夫して作りました。難しかったことは、脚でバランスをとることです。
5年2組	33	シーサー作りで難しかった作業は2つあります。1つ目は足作りです。なぜなら、体のバランスを足四本で支えなければいけないからです。2つ目は色塗りです。どの部分に何色を塗るのかによって印象が大きく変わってくると思ったからです。色々なことがあったけれど、無事シーサーが作れてよかったです。
5年2組	34	最初は粘土で顔や体を作るのが難しかったです。特に難しかったのが「耳」です。なぜなら、餃子の形にすることに挑戦したからです。そもそもシーサーの耳がどのような形なのかも知らなかったなので、結構大変でした。
5年2組	35	最初は、色の組み合わせが分からなかったけれど、自分で考えて色を塗ったら綺麗に塗ることができました。想像以上にうまくできました。シーサーの顔や体に合った色で塗ることが大事だということに気付きました。
5年2組	36	最初は、個々でどのような形がよいかを考えていたけれど、全てのパーツを組み合わせたときに見栄えがよくなるように作ったことで迫力のあるかっこいいシーサーになりました。特に工夫したのは、シーサーの表情です。他とは違う顔にしたかったので、眉は鼻の上の所をくると巻いてみました。目は、しずく型を横にしたような形にしてみました。色塗りでは、どこをどのように塗るかとても迷いました。沖縄のイメージカラーが私の中ではオレンジや黄色や赤だったので、それらの色で塗ってみました。体は、顔を目立たせたかったので模様、尻尾、爪しか塗らないようにしました。爪は、白を塗ったあとに赤や緑で模様を付けました。
5年2組	37	最初は、うまくできず難しく感じるが多かったです。それでもだんだん楽しくなっていって自分の中では力作になりました。色塗りでは、どのような色にするかをよく考えました。
5年2組	38	シーサーの顔を作ったり、模様を考えたりすることがとても楽しかったです。

		足と胴体をくっつけるときに中々うまくいかなかったので、重さを軽くしたり形を変えたりしてみました。何度も崩れそうになることがありましたが、何度も形を整えることを頑張りました。このシーサーはどんな災からもなでしこ小のみんなを守ってくれる守り神です。
5年2組	39	シーサーを作って難しかったことは、足でしっかり立つようにすることや、顔のパーツをどのようにするかを考えることです。考えることは大変だったけれど、パーツ作りがとても楽しかったです。友達や自分の作品の工夫したところを見付けることも楽しいなと思いました。
5年2組	40	シーサー作りで大変だったことは、胴体の形が崩れないようにすることでした。足でバランスを保てるようにして、自立できるようにすることを頑張りました。
5年5組	1	シーサー作りでは体を支えられるように足をつけることがとても大変でした。目と口と鼻と耳と尻尾の色をつけるのが楽しかったです。
5年5組	2	シーサーを座り姿勢にするために足を曲げてくっつけるのが難しかったです。何度もつけては壊れて、大変でした。色を塗るときにお花を描くという工夫をしました。